

# VALUE & QUALITY

株主の皆さまへ

第116期 中間報告書

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日



日本バルカー工業株式会社  
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

証券コード：7995

## 基本理念

VALUE  
&  
QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの  
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針  
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

## VALUE &amp; QUALITY

## 価値の創造と品質の向上

## ごあいさつ

株主の皆さまに第116期中間報告書をお届けします。

当中間期においては、日本経済が緩やかながらも回復基調に向かった一方で、海外経済は、新興国経済の不振、欧州金融危機の再燃、地政学的問題、資源価格の動向などが現出し、グローバル経済全体へ悪影響を及ぼしました。

このような事業環境下にありまして当社グループは、当年度から開始致しました第7次中期経営計画“New Valqua Stage Seven (NV・S7)”のもと、製品とサービスの質の向上を図るとともに、“選択と集中”を推進するなど、新たな企業価値の創造に向けた企業活動に注力致しました。

今後も“NV・S7”で掲げた諸戦略を速やかに実行に移し、“顧客感動提供企業”として持続的成長を実現するとともに、それに伴うあらゆるリスクに対応する体制を整備し、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

平成27年12月

代表取締役社長 兼 CEO

龍澤 利一

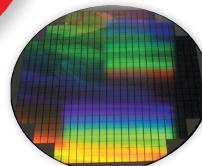


シール製品  
事業売上高 **14,137** 百万円売上高  
構成比 **68.8** %事業  
概況

国内プラント向けの販売が減少したものの、国内外の先端産業向けが順調に拡大し、売上高は141億3千7百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は13億8千8百万円（同2.9%増）となりました。

今後の  
展開

バルカーグループのコア事業として、海外展開の加速を図るとともに、シールエンジニアリングサービスの提供を通じた顧客接点の強化を行い、業績の拡大を図ってまいります。

機能樹脂製品  
事業売上高 **5,066** 百万円売上高  
構成比 **24.7** %連結売上高  
**20,533**  
百万円その他  
事業売上高 **1,329** 百万円売上高  
構成比 **6.5** %事業  
概況

国内外、特に台湾において先端産業に向けた販売が伸長し、売上高は50億6千6百万円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は1億7千7百万円（同2.7%減）となりました。

今後の  
展開

海外市場に向けて業容の拡大を行うとともに、国内においても新たな分野へ果敢に挑戦し、ノンシール分野の中核事業として成長を図ってまいります。

事業  
概況

“選択と集中”を推進するなど収益性の改善に努め、売上高は13億2千9百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は3百万円（前年同期はセグメント損失1億5千8百万円）となりました。

今後の  
展開

主にメンブレン製品を対象に選択と集中を速やかに実施し、収益性の向上を図ってまいります。

# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

### 四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期累計期間 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
売上高	19,714	20,533
売上原価	13,125	13,629
売上総利益	6,588	6,903
販売費及び一般管理費	5,216	5,334
営業利益	1,372	1,568
経常利益	1,517	1,588
税金等調整前四半期純利益	1,306	1,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	905	1,086

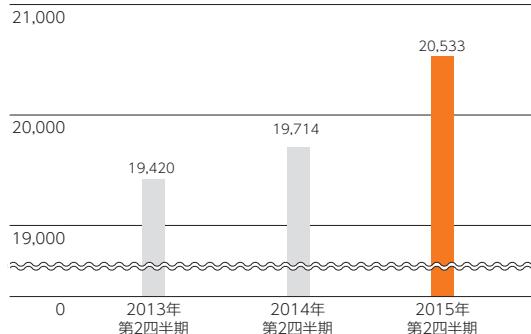
### 四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2015年3月31日	当第2四半期末 2015年9月30日
資産の部		
流動資産	23,123	23,671
固定資産	20,527	19,794
繰延資産	18	12
資産合計	43,669	43,479
負債の部		
流動負債	10,980	10,907
固定負債	3,828	3,452
負債合計	14,808	14,359
純資産の部		
株主資本	25,343	25,897
その他の包括利益累計額	2,208	1,902
非支配株主持分	1,308	1,318
純資産合計	28,860	29,119
負債純資産合計	43,669	43,479

### 売上高

単位：百万円



### 営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

■ 営業利益 ● 営業利益率

単位：%



### 配当

	中間	期末	年間配当
2014年3月期	5.0 円	5.0 円	10.0 円
2015年3月期	5.0 円	6.0 円	11.0 円
2016年3月期	6.0 円	6.0 円 (予想)	12.0 円 (予想)

## “ハード&サービス”で安全操業を支える — STC・デモカー、好評稼働中！ —

バルカーは、シール材をはじめとする製品でプラントの安全な操業や機器の確実な作動を支えてきましたが、その知見をさらに活用すべくサービス事業に力を入れています。

その中核となるのが、国内ではMRTセンター（東京都町田市）と奈良事業所に、海外ではタイ・ベトナム・中国・台湾の各拠点に設置したSeal Technical Center（以下、STC）です。STCでは、実際にシール材を取り扱うお客さまを対象に、選定や適切な使用法についての座学とプラントの模擬施設で各種測定機器を用いた装着実習などの実技を行い、“シール材のプロ”を養成しています。

また、“ミニSTC”であるデモカーも活用いただいています。デモカーはSTCを受講できないお客さまに向けて日本全国を走り回っています。

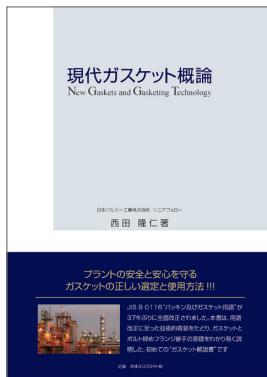
受講・利用いただいたお客さまからの評価も高いSTCとデモカー。今後は国内においてカリキュラムの充実を図るとともに海外においても展開を図ります。



※デモカーによる講習

## “現代ガスケット概論”刊行

— ガスケットとボルト締めフランジ継手の技術的基礎をわかり易く説明した初めての“ガスケット解説書” —



定価3,000円+税

近年の様々な環境規制に伴い、ガスケットの種類及びその材料は大きく変容し、ボルト締めフランジ継手の設計基準にも大きな動きが見られます。そうした技術的情况を受け、JIS規格“パッキン及びガスケット用語”も37年ぶりに全面改正されました。

このほど刊行いたしました“現代ガスケット概論”は、JIS用語規格改正に至った技術的背景をたどるとともに、ガスケットとボルト締めフランジ継手の技術的基礎をわかり易く説明した初めての“ガスケット解説書”と言えるもので、ガスケットにかかわる多くの方々にご参考いただける内容となっています。

著者：日本バルカー工業株式会社  
にしだ 隆仁  
シニアフェロー 西田 隆仁

【お問い合わせ先】SR室 Email: sr@valqua.co.jp  
TEL.03(5434)7372 FAX.03(5436)0560

# 最先端生産ラインの一翼を担うバルカーのライニングタンク

— 台湾の生産能力増強 —

世界有数の生産規模を誇る台湾の半導体業界。そこでもバルカーの製品は活躍しています。

半導体の生産には特殊な薬液を使いますが、その貯蔵や搬送が課題のひとつとなっています。

それらを解決するのが、バルカーのふっ素樹脂ライニングタンク・配管です。

ライニングとは“内張り”を意味しますが、生産には高い品質のふっ素樹脂と優れた加工・施工技術が必要となります。

バルカーの製品はその両方を実現。その優れた品質が評価され、需要も増加しています。バルカーでは、それに応えるべく台湾のライニングタンクの生産能力を増強し、9月より増産を開始しています。

これからもバルカーは、高品質な製品の提供を通じ、半導体業界に貢献してまいります。



※搬送用ライニングタンク (ISOコンテナ)



※金属製タンクの内側にふっ素樹脂加工を施し、製品状態を検査している現場の様子

CSR  
REPORT

## 《CSR》スポーツ振興支援 — バルカーカップ統一全日本ダンス選手権 —

Collaboration for  
Customers

顧客のための協働

Superior  
Quality  
第一級の品質

Rule  
First  
ルール最優先



※社長の瀧澤によるカップ授与

バルカーは、昨年度から生涯スポーツとして幅広い世代に親しまれている「ボールルームダンス」への支援を行ってまいりました。その活動をさらに進化拡大させるべく、毎年11月3日（祝日）に開催され、世界選手権大会の日本代表選考会でもある「統一全日本ダンス選手権」の冠スポンサーとなりました。

本大会には、賞金等のみならず運営面でもできる限り支援・協力し、本大会の更なる成功はもとより、ダンス界の繁栄、ひいては健全な人づくり、社会づくりに貢献してまいります。

## 会社の概況 (2015年9月30日現在)

社名	日本バルカー工業株式会社 NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.
創業	昭和2年1月21日
設立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	93,443,668株
株主総数	10,301名
従業員数	423名 (連結 1,576名)

## 役員 (2015年10月1日現在)

### 取締役

代表取締役社長 兼 CEO	瀧澤 利一
専務取締役	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (CCO)	加藤 慶治
取締役 (社外)	清川 佑二

### 監査役

常勤監査役	林 遙
監査役	楽満 靖
監査役 (社外)	中根 堅次郎
監査役 (社外)	中神 啓四郎

CEO=最高経営責任者

CCO=最高コンプライアンス責任者

### 執行役員

専務執行役員	小林 健一
専務執行役員	小田 博志
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	菱沼 晶光
常務執行役員	山根 啓
常務執行役員	青木 睦郎
執行役員	朝比奈 稔
執行役員	高 昭夫
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	上田 和也
執行役員	平石 智之
執行役員	谷田部 麻美子

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要があるときは、  
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人  
および特別口座  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告  
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により  
電子公告によることができない場合は、  
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



〒141-6024  
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階  
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560  
URL : <http://www.valqua.co.jp/index.html>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。  
見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。